

4. 事業計画の変更の概要

4.1 事業計画の変更の概要及び理由

本事業は、鉄道を高架化して道路と鉄道とを連続的に立体化することを目的として、平成32年度（令和2年度）の完成を予定として事業を進めてきたが、竹ノ塚駅より谷塚方の高架橋工事予定地内において、昭和50年代に高架橋を建設した際に使用した鋼矢板が大量に埋設していることを確認した。既設の鋼矢板撤去に長い日数を要するため、完成時期が遅れ、既定事業期間内に完了できないため、工事予定期間を「約9年（平成24年度～平成32年度）」から「約11年（平成24年度～令和5年度）」に変更する。また、これに伴い工事工程を変更する。

事業計画の変更は表4.1-1、工事工程の変更は表4.1-2に示すとおりである。

表 4.1-1 事業計画の変更

項目	変更後	変更前
工事予定期間	約11年（平成24年度～令和5年度）	約9年（平成24年度～平成32年度）

表 4.1-2 工事工程の変更

【変更後】

工種	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R元(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
工事用仮囲い設置工事												
仮設構造物設置工事												
既設構造物撤去工事												
仮線工事												
高架橋工事												
盛土工事												
軌道工事												
電気工事												
駅建築工事												

【変更前】

工種	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	H32(2020)
工事用仮囲い設置工事									
仮設構造物設置工事									
既設構造物撤去工事									
仮線工事									
高架橋工事									
盛土工事									
軌道工事									
電気工事									
駅建築工事									

4.2 事業の進捗状況

工事前と現在（令和元年9月現在）の駅部断面図は図4.2-1、工事の進捗状況は図4.2-2に示すとおりである。

平成24年11月に工事着手した。

竹ノ塚駅部における主要な工事の進捗状況は、以下のとおりである。

- ・平成25年度から平成28年度に、東口駅ビル一部の解体工事、仮設地下道建設工事等の準備工事を行い、仮設地下道は平成28年11月より供用開始した。
- ・平成28年度から平成29年度に、仮地下駅建設工事、仮ホーム建設工事等を行い、仮地下駅及び仮ホームは平成29年8月より供用開始した。その後、既設の橋上駅舎の東西自由通路及び建屋等の撤去工事を行った。
- ・平成30年9月の上り緩行線の仮線への切り替え工事の後、既設ホームの撤去工事を行った。

駅部以外における主要な工事の進捗状況は、以下のとおりである。

- ・下り急行線は、西側に鉄道用地として確保したスペースに、平成26年度から計画線の高架橋工事を行い、平成28年5月に計画線への切り替え工事を行った（完成）。
- ・下り緩行線は、下り急行線の既設線を撤去したスペースに、平成28年度より計画線の高架橋工事を行っている。また、平成29年8月に仮線への切り替え工事を行った。
- ・上り緩行線は、既設線の西側に敷設した仮線へ平成30年9月に切り替え工事を行った。平成30年11月より、計画線の高架橋工事を行っている。
- ・上り急行線は、既設ホーム等の撤去工事を行った後、既設線の西側に敷設した仮線へ令和元年6月に切り替え工事を行った。令和元年8月より、計画線の高架橋工事を行っている。
- ・駅の北側の引上線は、平成30年3月に仮線への切り替え工事を行った。
- ・駅の南側の南部跨線橋（歩道橋）は、平成29年3月に閉鎖し、下り線側の撤去工事を行った。平成29年11月から12月に、残りの上り線側の撤去工事を行った。
- ・駅部の37号踏切道脇の跨線橋は、平成28年度に下り線側の撤去工事を行った。平成30年度に上り線側の既設ホームまでの撤去工事を行った。令和元年7月から8月に、残りの部分の撤去工事を行った。

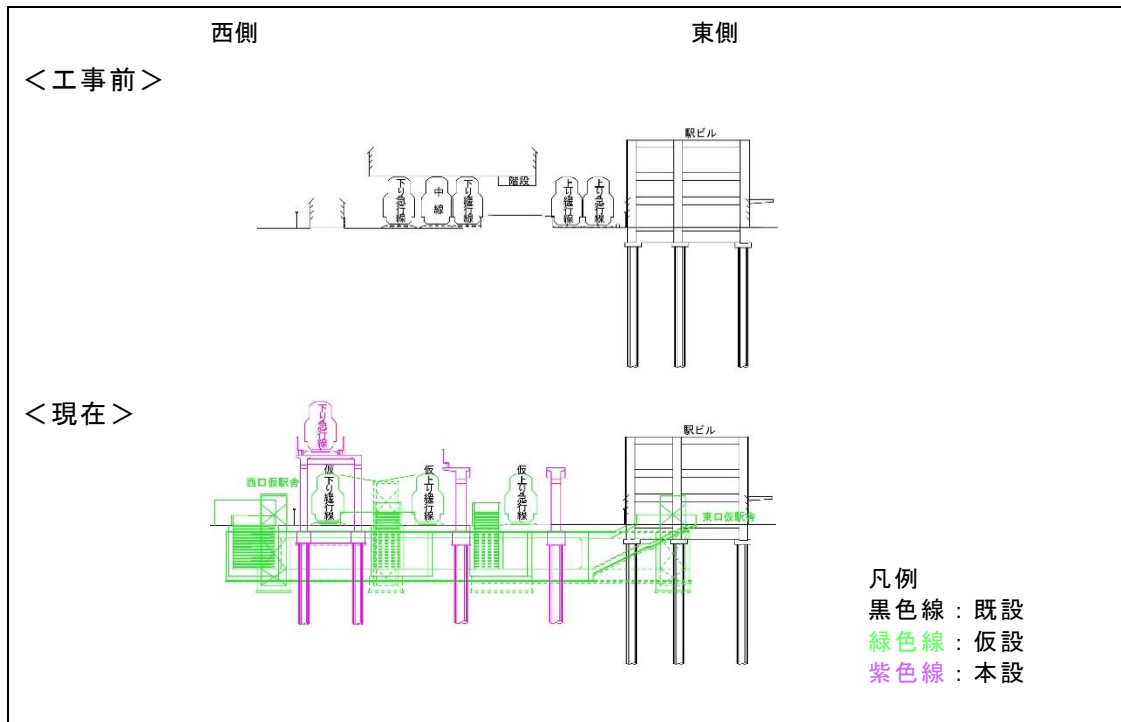


図 4.2-1 工事前と現在（令和元年9月現在）の駅部断面図

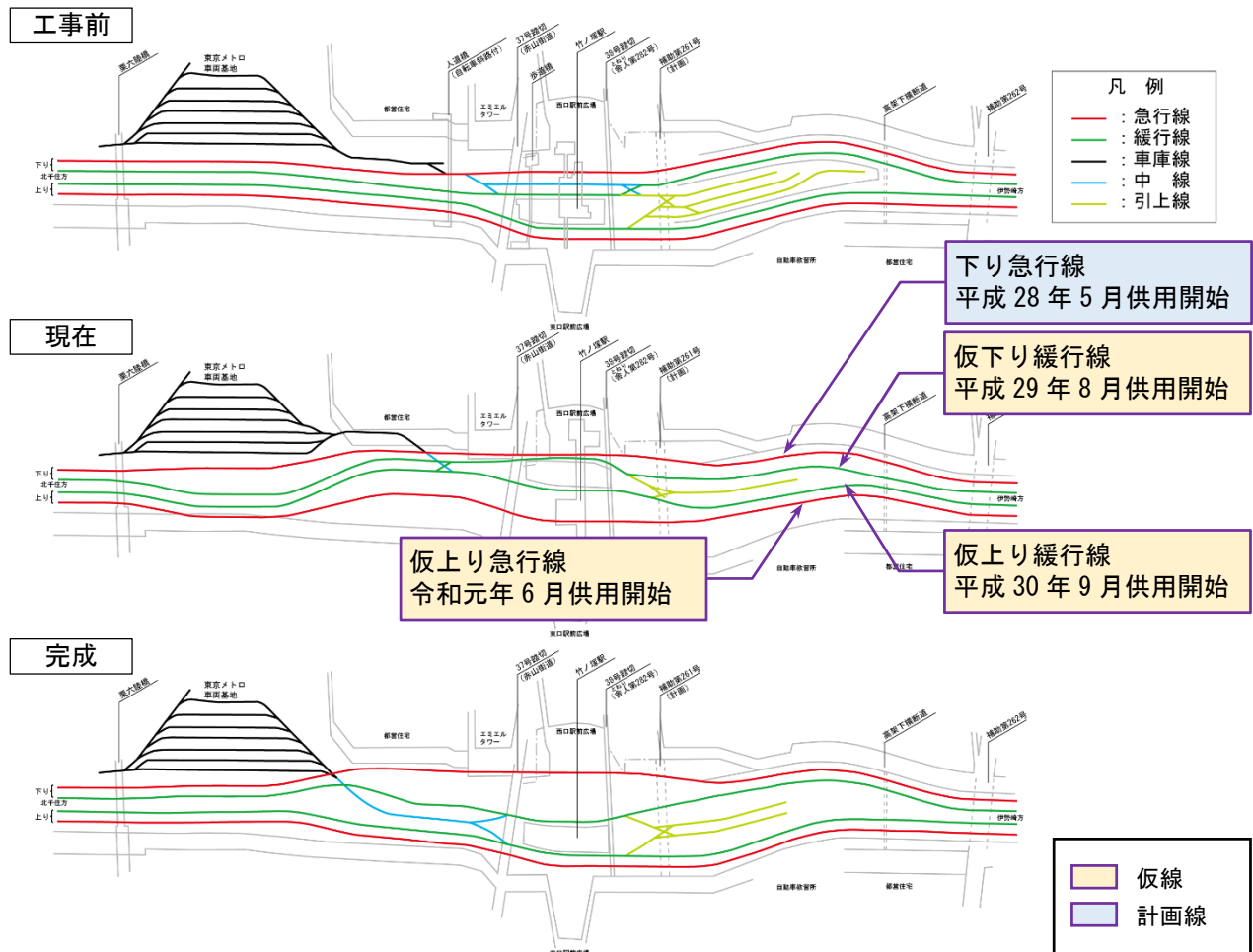


図 4.2-2 工事の進捗状況（令和元年9月現在）